



豊かな時刻を

「挑戦」「創造」「貢献」「誇り」

中沢中学校 学校だより
令和8年度 第1号
令和7年4月8日

新入生を迎え令和8年度が始まりました

校長 山田 裕康

暖かな風の中で桜が舞う4月7日に着任式、始業式、入学式が行われ、中沢中学校の令和8年度が始まりました。今年度の学校経営の重点は「多様性を認め合い共生する生徒の育成」です。個性を尊重しながら、集団としての力を高めていこうとするものです。誰もが居場所のある学校づくりを目指していきます。今年度は、2, 3年生も入学式に出席し、新入生を出迎えました。式辞の中で次のような話をしました。

共生とは「共に生きる」ということですが、そのためにがんばってもらいたいことが二つあります。

一つ目は自分を生かす、ということです。皆さんは家庭、地域、そして学校の一員です。そこではいろいろな立場や役割があります。その役割をしっかりと果たしてください。さらに与えられたことだけでなく、自分に何ができるか、何をしなければいけないかを自ら考え行動すること、持てる力を精一杯発揮することが自分を生かすということなのです。

もう一つは人を生かす、ということです。それは人の良いところを見つけて認め合うことです。優しさと思いやりをもって人と関わり、互いの良さを認め 高め合えるような仲間づくりをしてください。

そして誰もがかけがえのない大切な人です。人の命、体、心を決して傷つけてはいけません。自分を生かし、人を活かす。自分を大切にし、人も大切にする。このことを心に留めて日々の生活を送ってください。それが共生社会への第一歩となるはずです。

話の終わりに皆さんに一つの詩を紹介します。坂村真民さんという詩人の「今」という詩です。

大切なのはかつてでもなく これからでもない 一呼吸 一呼吸の今である

かつてとは昔、以前のこと。大切なのは今までのことでもこれからのことでもない、呼吸している「今」このとき、この場で自分が何をしているかだ、と言っているのです。「今」この場をいい加減にせず、夢や目標に向かって自分から学ぶこと、仲間と協力してやりとげること、そして自分の心と体を鍛えることの大切さを示しています。

人生は「今」の繰り返しであり積み重ねです。その地道に積み上げた経験が、自分の夢や希望の実現につながっていくのです。

本年度も保護者の皆様、地域の皆様には、生徒たちの健やかな成長のため、学校にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。教職員一丸となって、教育活動を全力で実践してまいります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

